

平成24年度事業報告書
(平成24年7月1日から平成25年6月30日まで)
特定非営利活動法人 グリーンイノベーション宮崎

1 事業活動方針

本会の目的及び事業に対する社会の要望に応えるため、本年度においては次の事業活動を行う。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 上下水道汚泥・汚染土壌等を緑化等に再利用するための調査・研究事業

(i) 緑化材(プランツソイル)の施工現場追跡調査を行い、不十分な点に関する技術改良を行う。

- ・実施時期：平成24年7月～平成25年6月
- ・調査対象：プランツソイルを施工した現場
- ・調査内容：緑化現場の追跡調査および不十分な点があればその改良

平成24年11月に施工した「北方延岡道路」の現場を25年6月に追跡調査した結果、一部緑量の少ない場所を確認。

春先の少雨が影響したと考えられ、プランツソイルの基盤自体は流失しておらず問題ないが秋雨時期まで経過観測を行うこととした。

(ii) 一般廃棄処理の溶融スラグを緑化材構成品目として検討を行う。

- ・実施時期：平成24年7月～平成25年6月

みやぎの循環資源利用促進事業を活用し、国道220号(日南市)の法面において試験施工を実施した。プランツソイル基盤材に溶融スラグを3%、5%、0%の割合で配合、各50㎡を施工し経過を観測中。25年度も事業を継続する予定。

(iii) 低コストのリサイクル環境配慮型緑化材「ローカルベース工法」の調査研究

- ・実施時期：平成24年7月～平成25年6月

保水力を確保しプランツソイルの配合を簡略化させ低コスト化を実現。宮崎及び延岡土木事務所の急傾斜工事や道路改良工事で採用された。現場状況調査(水野技術部会長)を行った結果、良好に生育している。

② 廃棄物のエネルギー化・有機堆肥化等の有効利用に関する調査・研究事業

(i) インド砒素汚染農村での牛糞・人糞への実施

- ・実施時期：平成24年7月～平成25年6月
- ・調査対象：宮崎市下水処理場およびインド砒素汚染農村地区
- ・調査内容：太陽熱温水器の取り付けを行い、低温時におけるガス発生

量の確保に向けての実験を行う。また、農村での適応性に関する農民へのアンケート調査を行う。

インド地下水砒素汚染地域に建設したバイオガスプラントに太陽熱温水器を取り付けて実験をおこない、気温が低い時期でもガスが発生することを確認した。また利用者へのアンケート調査から、バイオガス利用は非常に好評であり継続して利用したいと考えていることがわかった。

- ③ 上記①～②以外の「グリーンイノベーション」技術の開発研究事業
「グリーンイノベーション」技術の普及活動および新しい技術の発掘・認定・普及活動
・実施時期：平成24年7月 ～ 平成25年6月

放置竹林の拡大防止対策の一環として、エコダー研究会が九州大学と共同開発した「竹資材を使った緑化工法」についてグリーン有機資材（開発協力業者）の説明を受けた。

- ④ 上記①～③に関する新技術の普及・啓発事業
ア. 例会と技術検討会の開催

例会は1回／2ヶ月、技術検討会は必要に応じて開催する。

例会開催

イ. シンポジウムの開催

1回／年に「グリーンイノベーション」技術に関する特別講演とシンポジウムを開催する。

未開催（次年度平成25年8月開催予定）

- ⑤ 企業・行政を対象とした「グリーンイノベーション」技術の支援事業
・実施時期：平成24年7月 ～ 平成25年6月

第4回ひむか協働商談会（平成25年1月30日開催）に参加、異業種のNPO法人や自治体（綾町等）と意見交換しました。